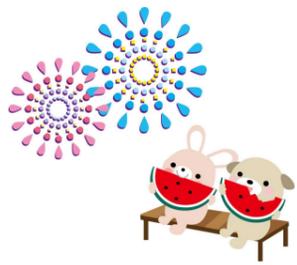




2017年度 年主題〈愛されて育つ〉

<p>0・1・2歳児 7月主題 「きもちよく」</p> <p>月のねがい</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎イエスさまを身近に感じる ◎暑さや感染症から守られながら健康に過ごす ◎土、砂、水にふれて遊ぶ ◎沐浴して気持ちよく過ごす 	<p>3・4・5歳児 7月主題 「気持ちよく」</p> <p>月のねがい</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎友だちや保育者と思い合わせて、祈る ◎土、砂、水に親しむ ◎遊びたい友だちや、やりたいことがはっきりしてきて遊びが続くようになる ◎体を洗ったり、着替えたり、木陰で休んだりすることを快く感じる
---	--



かたつむりみ〜つけた!

今年度は遅い梅雨になりましたね。園のあじさいの花もやっと色づき始めました。

先日、あじさい組さんと雨上がりのお散歩へ行ってきました。出発前にいろんな虫が登場する紙芝居を読むと、「かたつむりがいるかも!」との声。どこにいるか尋ねると、「葉っぱに隠れてるかも!」と返ってきました。「かたつむり探そぞー!」「おー!」といざ出発!どこにいるかとみんなで屈んで探していると、「かたつむりさん出ておいで〜。」と、可愛い声も聞こえてきました。ついに小さなかたつむりを発見しました。みんな駆け寄ってきて、「ちっちゃーい。」「(殻が)ギザギザしてるねー!」とじーっと見ていました。その後、大きなかたつむりを見つけ、指先でツツツンして「頭かなー?」「あつ!隠れちゃった。」ととても不思議そうな表情のお友だちでした。その日は給食中も「かたつむりいたねー!」と話題はかたつむり一色。お帰りの前もかたつむりの歌の大合唱、頭の中はかたつむりでいっぱいあじさい組さんでした。可愛いつぶやきや言葉のやりとり、お友だちと嬉しいことを伝え合う姿にとっても成長を感じ、私自身もすごく楽しい一日になりました。

こども園になって、赤ちゃんの時から通っている子どもどんどん増えてきました。数年前はよちよち歩きやハイハイしていたお友だちが、今では走り力強くなり、かけっこしても追いつかないほど速くなりました。「できな〜い」と甘えていた子も、最近ではもも組さんがお部屋へ移動するときに手を繋いで連れてきてくれたり、本当に心も体もお兄ちゃん、お姉ちゃんになってきていると感じます。

さあ、梅雨が明けたら暑い夏!7月は夏祭り、海遊び、そうめん流し、年長さんはドキドキのお泊まり保育とお楽しみが盛りだくさん!!残りわずかな一学期、子どもたちが笑顔で過ごせますよう心から願っています。 大河

今月の聖句 ひかりのこどもらしくあゆみなさい。

エペソ5:8

光は人類や動植物にとって不可欠です。まず、その特質を考えてみましょう。

- ①光は恵。地球上の人を含めてすべての動植物は太陽光によって暖を得、食物を頂きます。
- ②光は人の魂に語りかける。歌を創り、歌を歌う心を持つ。絵を描き、鑑賞する。詩や短歌、俳句を詠み、これを互いに味わい魂が喜び揺さぶられます。
- ③光は人生の教師。危険な場所を知らせ、正しい道程を示します。
- ④光は恐怖。時として光は恵だけでなく、人類に災いをもたらすこともあります。例えば稲妻、雷、放射能(放射能も光の一種)です。
- ⑤光は救い。光の最大の恵は人類の魂の救いです。聖書では天地創造の第一番目に「光」を創られたと記しています。そして、救い主のことを「光」(ヨハネ福音書1章9節参照)として表しました。救い主キリストは人類に恵みを与え、信仰を呼び起こし、よき教師となり、人類を救われます。上記の光の働きをすべてもっています。

「光の子らしく歩きなさい」とは人類が光である「救い主」の子として存在していますので、「光の子どもにふさわしい人生を送りなさい。」ということです。すなわち自分が恵まれているように、人に恵みを分かち合い、人に詩的こぼれを語り、人を導き、神とともにあることの平安を分かち合うことになります。

前理事長 池田公栄

7月の行事予定

1日(土)	夏祭り・弁当日(2,3号)
4日(火)	海遊び4・5歳児・弁当日
6日(木)	海遊び2・3歳児
7日(金)	七夕事業所訪問
11日(火)	7月誕生会
13日(木)	市営プール遊び(年中長児)
15・16日	お泊まり保育(年長児)
19日(水)	1学期終園式(1号:午前保育)

8月の行事予定

1日(火)	夏期保育(公開保育)
21日(月)	夏期保育(8月誕生会)
14・15日	弁当日
26日(土)	夏期おやち保育

新規採用職員紹介

5月から保育補助や児童クラブ支援員として加わりました **森山えりか**です。子どもたちと楽しく関わりたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



燃やすための手紙

空梅雨の予感がしていた六月前半でしたが、後半はしっかりと梅雨を味わうことが出来ました。各地の水瓶は十分満たされたでしょうか。やはり今年の夏も暑さが厳しくなりそうです。夏バテしないようにしっかりと睡眠と栄養を取って、子どもたちに負けなないようにしたいものです。

世界では、相変わらずテロや暴力のニュースが後を絶ちません。国内では、ある女性による部下に対する罵詈雑言の音声が、日本中に流れまわりました。政治の世界もまた、「敵失」と言われる失言や疑惑に乗じて、明けても暮れても批判合戦ばかりが耳に付きます。

リンカーン大統領の部下だったスタントン国務長官は、自分に対する批判や非難が耐えられないほど苦手でした。身に覚えのない非難に対する怒りを大統領にこぼすと、「厳しく抗議の手紙を書いたらどうだい?」とアドバイスを受けました。そこで彼は、激しい言葉で満ちた手紙を書き上げ、大統領に見せたところ、「君はこの手紙をどうするつもりかね?」と意外な言葉が返ってきました。戸惑いながら「どうって、もちろん送るんですよ!」と答えると、大統領はこう言いました。「君は本当はこんな手紙は出したくないんだろう。今すぐストーブへ投げ入れてしまいなさい。私は怒ったときにいつもそうしているよ。でも、書いたことは大いに意味のあることだ。すっきりしただろう?」まさに暴力を用いずに怒りを処理する効果的な方法ですね。

誰でも怒りを覚えることはあるものです。怒りによって誰かを攻撃したいという思いに駆られたとき、如何にして感情をコントロールできるかが重要です。とても難しいことですが、まず自己の感情を探り、ありのままに受け入れることだと思えます。その上で、適度な運動や休息、笑うことや奉仕なども効果的かもしれません。静かに瞑想したり、相手のために祈ることも結構よいものです。

「暴力は、結局自己破壊に至る。やった側には苦しみ、やられた側には残念さが生じるのだ」(マーティン・ルーサー・キング牧師)

海や川、山や野原で走り回り、カニや小魚やカブトムシを追いかける。生涯の基となるこの時期を、家族や友だちとこの島で過ごす子どもたち...なんて素晴らしい時間を与えられたことか。どうぞキラキラする宝物のような瞬間を皆さんで楽しんでください。

いよいよ週末は、めいろう恒例の夏祭りです。きつと子どもたちにとつて忘れられない素晴らしい思い出となることでしょう。子どもたちのために今できることを、皆さんが共に整えてくださることに心から感謝いたします。子どもたちと共に暑さも愉しめますように。

園長

今井和子先生の
「0歳児から5歳児行動の意味とその対応」より

「0歳児 何でもものを舐める」

悩み: ハイハイができるようになったら、何でもさわって舐めまわします

対応法: 舐めまわすことを十分にさせてあげましょう。子ども本来の好奇心や探索心を育てるためにも、「見て、さわって、舐める」という行為を十分にさせてあげましょう。これはやがて自分でつかんで口へ持っていき、食べることへの喜びにもつながっていきます。舐めることで、感覚機能も知能も育つのです。また、赤ちゃんは、取りあげられることを一番嫌がり、探索欲求も損なうことになるので、舐めているときは好きなように舐めさせてあげましょう。

10か月ごろになると、小さなものもつまめるようになるので、誤飲事故を招くような、小さなボタンやクリップ、電池、口に入れたくない汚いもの、危ないものなどは、手の届くところに置いておかないように注意しましょう。

行動の意味: 舐めることで、ものを認知しています。ハイハイができるようになると、いろいろなところに移動できるので、好奇心も旺盛になります。見るものすべてが赤ちゃんにとっては新鮮で、これは何だろう?と手に取って、真っ先に口に持っていきます。なぜなら、この時期の赤ちゃんにとって、口の中が一番大事な認知機能だからです。舌で舐めてザラザラした感触や冷たさ、温かさなど、ものを認知していきます。赤ちゃんは、舐めて確かめないと気がすまないのです。

